



2019/06/22/SAT.

第1回「ひまわり教室」報告

元気いっぱい！遊具あそび

今回は、梅雨の時期でも体や様々な感覚をフルに使うように、広い武道場での「室内遊具あそび」をメインの活動として行いました。はじまりの会では、元気よく朝の挨拶をしたり、朝の歌を歌ったりしました。お名前呼びでは、自分の名前が呼ばれると「はい！」と元気よく返事をしたり、手を挙げて返事をする事ができました。

その後はいよいよ武道場へ移動し、遊び場を見て子どもたちは大興奮。新聞紙プールにうもれたり、段ボールすべり台を滑ったり、柔らかいプールのへりで体を揺らしたりして感覚あそびを楽しむ子ども、段ボールの家に入ったり、段ボールを積み重ねたりして遊ぶ子ども、友達と一緒にカート遊びを楽しむ子ども・・・それぞれの場でたくさんの子どもの笑顔がみられました。

あっという間の時間でしたが、汗をたくさんかいて友達とかかわりながら仲良く遊ぶことができました。



保護者勉強会「生活習慣の自立に向けて」

「生活習慣の自立に向けて」というテーマで、9名で体験を交えた勉強会を行いました。参加者・関係者の自己紹介の後、2人1組になりアイマスクやシミュレーションゴーグルを着け、お子さんの見え方に近い状況でヨーグルトを食べさせ合う体験をしました。体験後は「良かれと思ってやっていたことが、子どもにとっては不快なものだったのかもしれない」という感想も聞かれ、子どもの立場になって、支援の仕方を考えたり、段階的な支援を行うことの大切さに気付いたりする機会となったようです。

その後、幼稚部での給食の様子ビデオを視聴し、食事をする際の支援のポイントなどをお話しました。

最後は、弱視と全盲の2人の理療科職員に対して「生活の工夫について」のインタビューがありました。幼少期のお話や生活に役立つ様々なアプリや便利グッズの紹介があり、実際に便利グッズを使って「今日買って帰ろう！」という声も聞かれました。視覚障害を持つ職員からの生の声に、笑いあり・どよめきあり・うなずきあり・・・とても有意義な時間になりました。



第2回のご案内

令和元年 11/8 金

10:00~12:00
幼稚部の授業体験&見学

第2回は、本校の幼稚部のおあつまりの会から午前中の活動を在校児と一緒にを行います。盲学校の幼稚部で大切にしている「できる限り本物に触れる活動」があります。自分が保有する感覚をフルに使いながら季節や素材をしっかりと感じられる直接的な体験をする予定です。

